

周南市就学前児童通園施設の今後の在り方〔概要版〕

就学前児童通園施設とは

本市には、小学校就学前の子どもが日々通園する施設は、「学校教育法」に基づく教育施設として公立幼稚園14園・私立幼稚園13園、また「児童福祉法」に基づく児童福祉施設として公立保育所18園・私立保育所9園及び児童厚生施設として児童園2園が所在しています。

本編では、これらを総称して「就学前児童通園施設」と表記します。

本市の就学前児童通園施設

都市地域	幼稚園	公立	6園
		私立	10園
	保育所	公立	12園
		私立	7園

都市周辺地域	幼稚園	公立	4園
		私立	2園
	保育所	公立	2園
		私立	1園
児童園	公立	1園	

中山間地域	幼稚園	公立	4園
		私立	1園
	保育所	公立	4園
		私立	1園
児童園	公立	1園	

子どもを取り巻く環境の変化

- 少子化の進行
- 核家族化の進行
- 地域連帯感の希薄化
- 女性の社会進出
- 法体制の整備(認定こども園等)

子どもを取り巻く環境の変化や多様化する幼児教育・保育ニーズに対応するために

公立施設の配置の再検討

基本的な考え方

- (1) 適切な集団規模の確保
- (2) 公立施設と私立施設の役割の明確化(民間活力の活用)
- (3) 安心・安全のための施設整備
- (4) 幼稚園と保育所の連携(幼保一体化)

公立施設の今後の方向性

区分		今後の方向性(ポイント)
都市地域	公立幼稚園	民間活力の活用 民間譲渡(民営化) (幼稚園の「指定管理者制度」の導入は、「学校教育法」の規定により、現状では対象外) 施設の統合等による集約 (適切な集団規模の確保や公立施設の配置の再検討) 「3歳児保育」の拡充
	公立保育所	民間活力の活用 「指定管理者制度」の導入や民間譲渡(民営化) 小学校就学前までの一貫した保育体制の整備 (3歳未満児までの乳児専用となっている保育所の解消)
都市周辺地域	公立幼稚園	地域の拠点として必要な整備 (菊川地域における幼児教育・保育の拠点施設) 幼稚園を集約し、幼保一体化施設(認定こども園等)あるいは保育所への転用 (夜市・湯野・戸田地域における適切な集団規模の確保と保育サービスの充実)
	公立保育所	地域の拠点として必要な整備 (菊川地域や勝間地域における幼児教育・保育の拠点施設) 幼稚園を集約し、幼保一体化施設(認定こども園等)あるいは保育所への転用 (夜市・湯野・戸田地域における適切な集団規模の確保と保育サービスの充実)
	公立児童園	施設の廃止と代替措置の検討 (適切な集団規模の確保や公立施設の配置の再検討)
中山間地域	公立幼稚園	直営により存続 (民間事業者の参入が困難な地域) 施設の統合等による集約 (適切な集団規模の確保や公立施設の配置の再検討) 幼保一体化施設(認定こども園等)への転用 (私立施設への影響は希薄)
	公立保育所	地域の拠点として必要な整備 (須々万地域や鹿野地域における幼児教育・保育の拠点施設) 施設の統合等による集約 (適切な集団規模の確保や公立施設の配置の再検討) 幼保一体化施設(認定こども園等)への転用 (私立施設への影響は希薄)
	公立児童園	施設の廃止と代替措置の検討 (適切な集団規模の確保や公立施設の配置の再検討)

今後の取組

「周南市まちづくり総合計画：後期基本計画」の終期となります平成26年度までの5ヵ年で、対応が可能な施設から、実施計画へ移行し、実効性のある事業手法の確立に努めていきます。

幼保一体化または施設集約の検討対象

公立幼稚園

(平成21年5月1日時点の園児数)

地域	公立幼稚園	園児数(定員)	定員に対する割合	今後の方向性についての検討		
				幼保一体化	施設集約	
都市地域	今宿	今宿幼稚園	22 (140)	15.7%		
	周陽	周栄幼稚園	46 (140)	32.9%		
	秋月	楠木幼稚園	30 (140)	21.4%		
	富田東	富田東幼稚園	61 (140)	43.6%		
	富田西	富田西幼稚園	44 (70)	62.9%		
	福川南	福川南幼稚園	27 (70)	38.6%		
都市周辺地域	菊川	菊川幼稚園	123 (180)	68.3%		
	夜市	夜市幼稚園	20 (70)	28.6%		
	湯野	湯野幼稚園	10 (70)	14.3%		
	戸田	桜田幼稚園	20 (70)	28.6%		
中山間地域	沼城	須々万幼稚園	28 (90)	31.1%		
	大津島	大津島幼稚園	0 (35)	0.0%		
	八代	八代幼稚園	3 (35)	8.6%		
	鹿野	鹿野幼稚園	16 (70)	22.9%		

公立保育所

(平成21年5月1日時点の園児数)

地域	公立保育所	園児数(定員)	定員に対する割合	今後の方向性についての検討		
				幼保一体化	施設集約	
都市地域	徳山	飯島保育園	25 (45)	55.6%		
		第一保育園	50 (60)	83.3%		
	今宿	第二保育園	189 (180)	105.0%		
		尚白保育園	64 (70)	91.4%		
		周陽	周央保育園	95 (120)	79.2%	
	周陽	大内保育園	111 (120)	92.5%		
		桜木	城ヶ丘保育園	87 (100)	87.0%	
	檜浜	檜浜保育園	114 (120)	95.0%		
		富田東	川崎保育園	62 (60)	103.3%	
	富田東		富田南保育園	48 (60)	80.0%	
		福川	若山保育園	74 (70)	105.7%	
福川	福川保育園		101 (120)	84.2%		
都市周辺地域	菊川	菊川保育園	87 (90)	96.7%		
	勝間	勝間保育園	54 (90)	60.0%		
中山間地域	沼城	須々万保育園	68 (90)	75.6%		
	中須	中須保育園	12 (45)	26.7%		
	三丘	三丘保育園	19 (45)	42.2%		
	鹿野	鹿野保育園	48 (45)	106.7%		

公立児童園

(平成21年5月1日時点の園児数)

地域	公立児童園	園児数(定員)	定員に対する割合	今後の方向性についての検討		
				幼保一体化	施設集約	
都市周辺地域	鼓南	鼓南児童園	9 (30)	30.0%		
中山間地域	長穂	長穂児童園	14 (30)	46.7%		

公立幼稚園の定員は、各施設で受入れできる最大人数です。
 公立保育所の定員は、「周南市立保育所設置条例施行規則」により定められた人数です。
 公立児童園の定員は、「周南市立児童厚生施設条例施行規則」により定められた人数です。

幼保一体化・・・認定こども園等による幼稚園と保育所の連携
 施設集約・・・現行施設の統合・廃止・分園による集約